



0 7 1 9 0 0 0 3 6

*2017年7月改訂（第2版）（新記載要領に基づく改訂）
2007年10月作成（第1版）

コード番号 A2N3399

Baxter

承認番号 20400BZY00131000

機械器具 74. 医薬品注入器
管理医療機器 自然落下式・ポンプ接続兼用輸液セット 70371000
(輸血・カテーテル用ストップコック)

インターリンクI.V.アクセスシステム (インジェクションサイト)

再使用禁止

【警告】

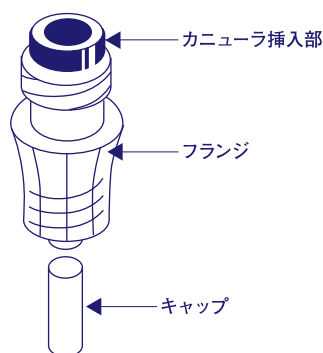
1. 中心静脈カテーテル、動脈カテーテルやその他の重要な箇所（偶発的な接続外れを起こした場合、重篤な症状もしくは死亡をまねく箇所）に使用されるラインと接続する場合は、ルアースリップアダプターを使用しないこと。[偶発的な接続外れが起こった場合、失血、空気塞栓等の合併症あるいは重要な治療の中断により、重篤な症状さらには死亡にいたるおそれがある。]

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止
2. 再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

- ・本品は滅菌済みで、発熱性物質を含有しない。
- ・インジェクションサイトは、他のインジェクションサイトと区別するために、周囲が色分けされている。
- ・本品は天然ゴムを使用していない。



コード番号	タイプ名
A2N3399	インジェクションサイト

【使用目的又は効果】

動静脈路への薬液注入及び血液採取

*【使用方法等】

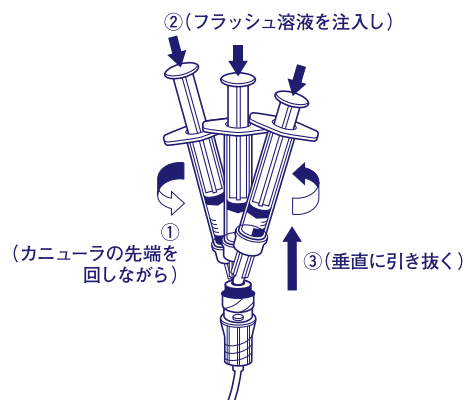
操作は無菌の方法により行う。

1. キャップを外して、本品をカテーテル留置針につなぐ。
2. フランジ部分を持ち、本品を固定する。
3. カニューラ挿入部のゴム部を消毒剤で拭く。
4. シリンジに取り付けたインターリンク・カニューラ（日本ベクトン・ディッキンソン株式会社）を、カニューラ挿入部のゴム部の中心スリットに挿入する。

【使用方法等に関連する使用上の注意】

1. 穿刺前には、インジェクションサイトのカニューラ挿入部のゴム部を、消毒綿等で、必ず消毒すること。消毒方法は、カニューラ挿入部のゴム部を一方方向に消毒する。
2. インジェクションサイトから薬剤を注入する場合には、インターリンク・カニューラを使用する。
3. 薬液、輸液、血液製剤投与後、また採血後のフラッシュは、フラッシュ効率を上げるために、下記の手順に従って確実に行う（図参照）。[確実なフラッシュが行われないと、血液の滞留による感染助長のリスク、薬液の化学反応の影響による薬効への影響、カテーテル閉塞、フィルターの目詰まりのおそれがある。]

①カニューラの先端を回しながら、②フラッシュ溶液を注入し、③注入を維持したままカニューラを垂直に引き抜く。



4. インターリンク・カニューラがインジェクションサイトに接続されている場合は、カニューラと接続している輸液セットやシリンジ、その他の器具等を外さないこと。

5. 金属針を用いる必要がある場合は、ゲージの細い針を用い、カニューラ挿入部のゴム部のスリット部外側に挿入する。
6. 中心静脈カテーテル、動脈カテーテルやその他の重要な箇所（偶発的な接続はずれを起こした場合、重篤な症状もしくは死亡をまねく箇所）に使用されるラインと接続する場合は、ルアースリップアダプターを使用しないこと。
7. 輸液セットとの確実な接続のために、インターリンク・カニューラネジ式又はレバー式ロックを用いること。

*【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

1. 使用中は本品の破損、結合部のゆるみおよび薬液漏れについて、定期的に確認すること。
2. ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。
3. 本品の交換に際しては、感染防止に留意すること¹⁾。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

直射日光を避け、乾燥した涼しい場所で室温にて保管する。

*2. 有効期間等

使用期限は包装又は外箱に記載する（自己認証による）

*【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献

- 1) CDC（米国疾病管理センター）の血管内留置カテーテル関連感染予防のためのガイドライン

2. 文献請求先

バクスター株式会社
連絡先：03（6204）3900

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者（輸入元）：

バクスター株式会社
連絡先電話番号：03（6204）3900

製造業者：

バクスターヘルスケア社（アメリカ合衆国）
Baxter Healthcare Corporation

Baxter 及びインターリンクはバクスターインターナショナルリンクの登録商標です

製造販売元（輸入元）
バクスター株式会社

07-19-00-0036